

長久手市行政評価票

事業番号	20	事業の名称	防犯街路灯整備事業	担当部署	部	課
					市民生活部	安心安全課

事業の目的・概要	(目的) 女性や高齢者が一人でも安心して街を歩ける安全なまちづくりを推進する。防犯施設の充実と共に住民の自主防犯意識の高揚を図る。 (概要) 市内の適正箇所に防犯街路灯の設置、また既設の維持管理を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	日進市、東郷町においては、行政が防犯街路灯の整備・維持管理を行っている。豊明市においては、地元で設備・維持管理を行い、行政が事業に対して補助金を出している。
----------	--	-----------------------------------	--

事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	防犯街路灯の整備によって、市民の生活の安全を守るための環境を整える。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	19,689	19,724	20,260	18,544	22,203
						国費・県費	19,689	19,724	20,260	18,544	22,203
						地方債					
						受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~													H24目標値	
① 防犯街路灯維持管理事業	全市民	[手段: 市民やセーフティパトロール等からの防犯街路灯の修繕依頼に対し、契約業者へ修繕を指示することで]				防犯街路灯を適切に管理することにより、市民の生活の安全を守るための環境を維持する。	・球切:563件 ・器具取替:111件 ・点滅器不良:95件 ・機器移設:10件 ・撤去7件 ・単価外修繕6件	修繕依頼数に対する修繕数の割合	100	%	前年度実績	16,539	16,569	17,925	16,399	19,868	B	施設台帳完備により迅速な対応が可能になった。今後は、管理数の増加により、修繕費や光熱費といった維持管理費の増加が予想されるため、従来の蛍光灯タイプの防犯街路灯に比べ、省エネ・長寿命であるLEDタイプの防犯街路灯の設置を進めていく。	
② 防犯街路灯整備事業	全市民	[手段: (要望受付)現地調査(設置工事) 随時設置]				必要とされる場所に防犯街路灯を設置することにより、市民の生活の安全を守るための環境をつくる。	防犯街路灯新規設置本数:85灯	地域住民からの要望数に対する新規設置数の割合	92	%	全ての要求に対し、なるべく応えたいため、高い数値で目標設定した。	3,150	3,155	2,335	2,145	2,335	B	市民の要望には設置基準や要件を満たすものについて可能な限り対応できた。今後は、市内の防犯街路灯の設置数が充実してきたことから、設置状況を分析し、防犯街路灯以外の手段も含めた防犯施設の整備を検討してゆく。	
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 防犯街路灯維持管理事業	従来の蛍光灯タイプの防犯街路灯に比べ、省エネにより光熱費を削減する事ができ、器具寿命が長いことにより維持管理費用を削減する事ができる、LEDタイプの防犯街路灯を設置する。			
② 防犯街路灯整備事業	防犯街路灯の設置状況を分析し、防犯街路灯以外の手段も含めた防犯施設の整備を検討してゆく。				